

エネルギーの
ある生活

～SDGs 7～

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



主なエネルギーの使われている場所

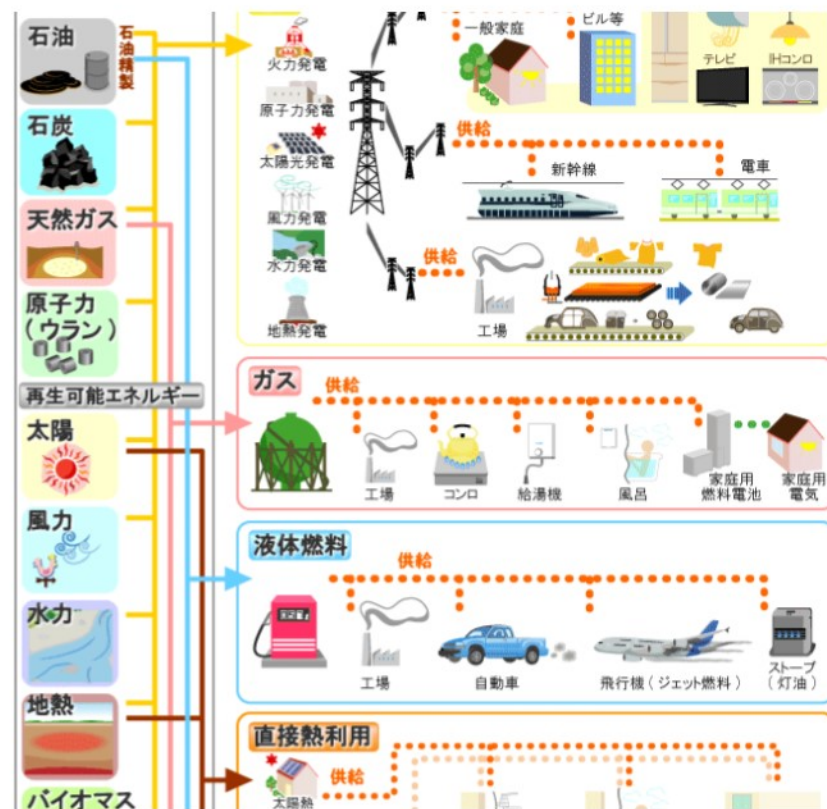
私たちが生活するにあたって、エネルギーはとても必要です。

毎日のように使っている、電気はもちろん

料理に使う火にも使われています。

公共施設や、沢山の人が使う物にもエネルギーは必要不可欠です。

皆さんの周りでは、どんな所でエネルギーが使われていますか？



日本の昔と今に目を向けて みる 👁️

エネルギーの普及している時代として
いない時代では、生活に違いがありま
す。

どんな違いがあるのでしょうか。



日本の昔と今

エネルギーの普及が少ない時代

自然の恵みを生かしてエネルギーを作っていた。

森林を中心にエネルギーを効率よく取っていた。

飛鳥時代～奈良時代にかけては、森林の使い過ぎで、ハゲ山が増えてしまった。

家畜や水車などエネルギーを取る道具や、技術もあった。



エネルギーの普及が多い時代

化石燃料→蒸気機関車→工場・発電所

石炭→石油→電気の普及

このように、普及が進んでいった。

しかし二度のオイルショックなどがあり、再生可能エネルギーに目が向けられた。



世界に目を向けてみる 👁️

世界には電気などのエネルギーを使えない人が「13億人」います。

当たり前に使っているキッチンも、エネルギーが普及していない国は薪などを使い料理をしています。

しかし薪などは煙をたくさん出すため、汚れた空気を吸ってしまいます。そのため、健康をそこなう事にもなります。



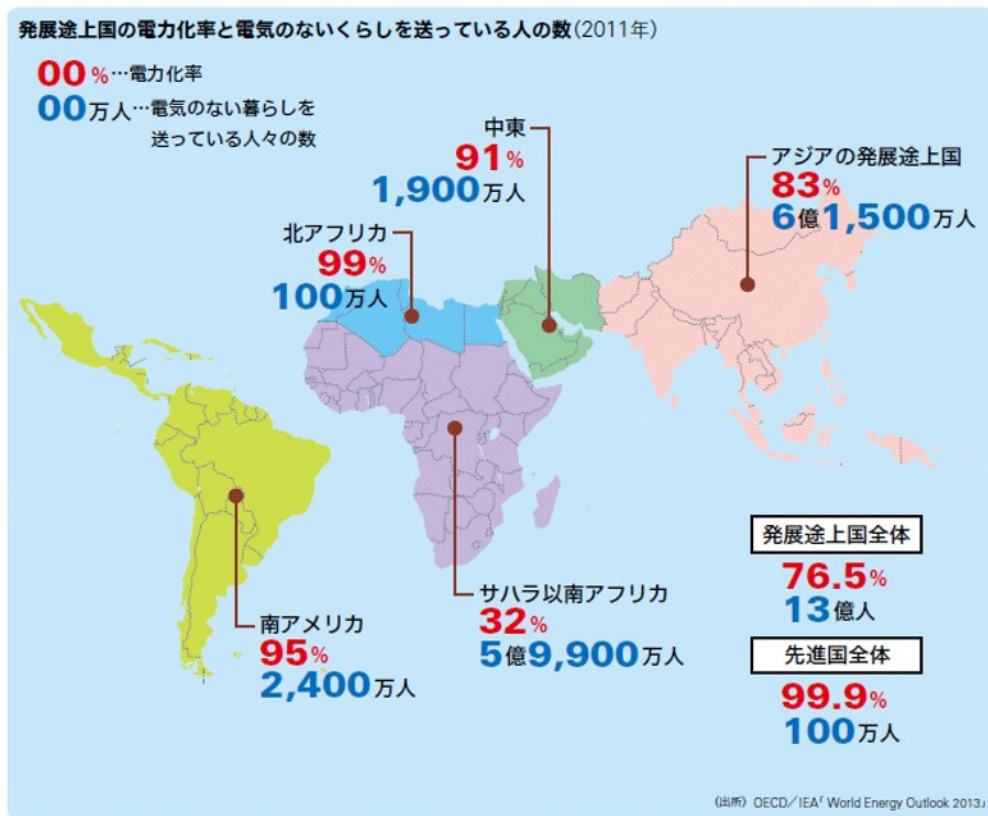
電気の無い生活

実際に電気の普及が進んでない国では、
沢山の不便があります。

- テレビ・音楽の鑑賞 ✕
- 勉強・料理・洗濯 ✕
- 食べ物の保存・病院での治療 ✕
- エレベーター・公衆電話 ✕

私たちが当たり前のように使っている
ものが使えないのです。

今の日本では考えられない生活をして
います。



◆世界のデータ

- 世界の人口/71億6200万人(2013年) (出所) 国連人口基金(UNFPA)「State of World Population 2013」
- 世界の国の数/195か国(2014年1月現在、日本が承認している国の数である194か国に日本を加えた数)
(出所) 外務省ホームページ
- OECD(経済協力開発機構)加盟国の数/34か国(2014年8月現在)

今起こっていることを見てみて...🤔

各国が次々に取り入れている再生可能エネルギーを活用して、世界全体のエネルギーをクリーンにする必要があります。

また、エネルギーを十分に取り入れられない国をなくすために今の私たちに何ができるのか、考えてみましょう。

家庭から企業、国全体でできることは異なってきますが、沢山できることはあるはずです。

SDGsをもとに何が出来るかまとめてみました。

まず再生可能エネルギーとは

街中で見かけたことがあるかもしれません。
自分の家でも作り出しているかもしれません。

実はこれも再生可能エネルギーを作り出している、と意外なものも多くあります。



再生可能エネルギー

再生可能エネルギー



水力



風力



バイオマス



太陽光



地熱 など

世界のエネルギー供給の

24.5%

太陽光・風力・地熱・水力・バイオマスなどのエネルギー。

使用后、資源を再生することが可能なため、石油や化石燃料の減少が抑えられる。

また、二酸化炭素を出さないため今深刻化している、地球温暖化・気候変動の進みを軽減できる。

Point

日本は世界第4位のエネルギー消費国だが、自給率が7.4%と極めて低い。

ほぼ輸入に頼っているため、本国での節電とうが大切になっている。

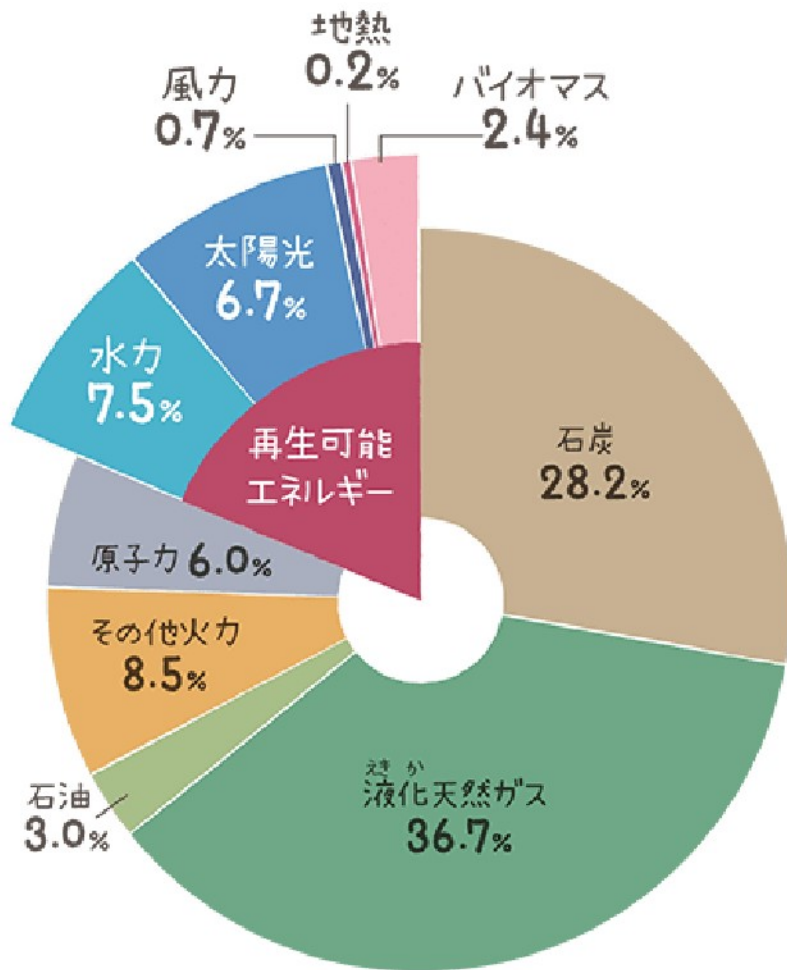
🔑 持続可能な再生可能エネルギー

半永久的な再生可能エネルギー。エネルギーの中でも、地球規模の環境問題の解決に役立つ重要なエネルギーです。

日本でも年々再生可能エネルギーの使用が増えてきています。

中でも**太陽光発電**の割合が増えています。再生可能エネルギーの三分の一にあたる6.7%を占めています。

太陽光発電について詳しくまとめました。



太陽光発電 ～ソーラーパネルを使って～



太陽に当てて、電気を作り出すソーラーパネル。
家や学校の屋根の上などについていることが多いです。

おおまかな

メリット☞太陽光がある場所なら、いつでも
発電できる。

設置費用が他のに比べると、安く
抑えられる。

デメリット☞太陽によっては、発電量に違いが
出る。

夜間は発電できない。

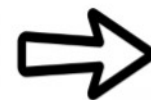
同時に、蓄電技術が発達しているため、もっと
使いやすくなると考えられています。

最大の魅力は、使われなくなり放置された土地
を活用できる点です。

太陽光があるところならどこでも出来る利点を
生かして、荒地などを利用した発電がおこなわ
れています。

いちごecoエナジー株式会社さんでは、

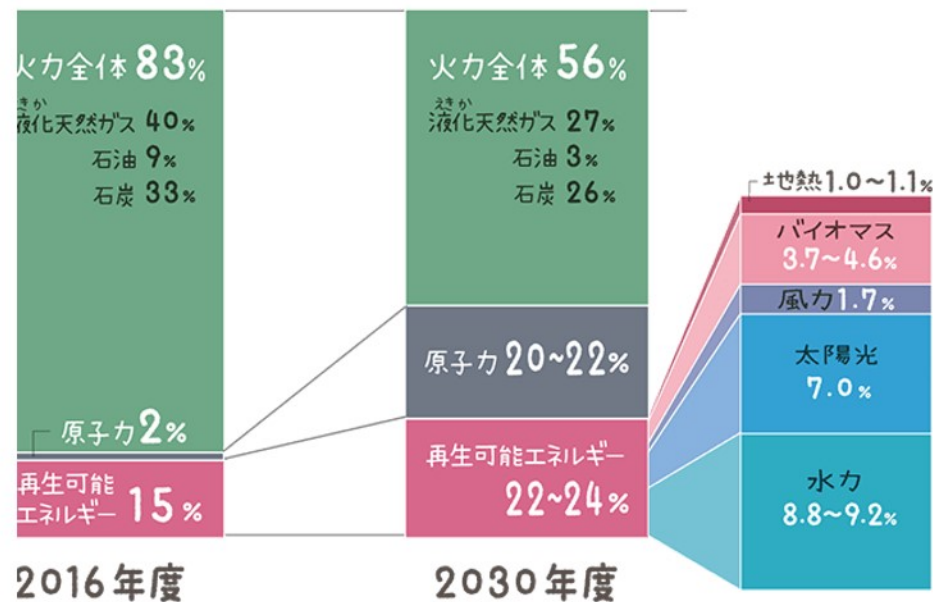
『メガソーラ』という、大規模な太陽光発電所
を使わなくなった土地に作っています。全国に
46か所あり、140メガワット分＝約4万6000世帯
分の電気を発電しています。



💡 エネルギーの自給自足を目指して

日本のエネルギーの8割は石油や石炭、化石燃料など環境に良くない資源から作られていて、その資源はほぼ輸入に頼っています。

日本では2030年までに、再生可能エネルギーの割合を22~24%まで増やすことを目標にしています。



私たちにできる事

✎国ができる取り組み

再生可能エネルギーの発電量を増やすためには、世界でも発電量の多い、中国・アメリカ・デンマーク・ドイツなどの取り組みを、日本でも導入してみる事が重要になってきます。日本に合う発電の仕方が見つかるかもしれません。

✎家庭でできる取り組み

エネルギーを沢山の人と共有するために、エネルギーを綺麗に保つために、日頃から節電・節水に努めることが大切です。家庭・学校で何ができるか話し合ってみるのもいいかもしれません。

SDGsに取り組んでみて

今回エネルギーについてSDGsをもとに、日本から世界へと広げて研究してみました。

まだまだエネルギーを自由に使えない人々が多いです。沢山使っている日本だからこそできることはあると思います。

私もこのSDGsの研究をしてみて、日頃の生活を見直してみようと思いました。そして、学校や国規模でも何が出来るかもっと考えていきたいです。

最後までご覧くださりありがとうございました。

